

生誕一九〇年記念

2025年 2月1日[土] - 3月26日[水]

前期:2月1日(土)~2月24日(月・祝)

後期:3月1日(土)~3月26日(水)

※前後期でほぼ全点展示替え

開館時間 10:30~17:30(入館17:00まで)

休館日 月曜日(2/24は開館)、2/25~28(展示替えのため)

入館料 一般 1200円 大高生 800円 中学生以下無料

# 豊原玉吉

Toyohara Kunichika

ケンカ、引越、酒、  
浮世絵。

「きられ与三郎 新水」  
(太田記念美術館蔵)(前期)

【お問合せ】050-5541-6500(ハローダイヤル)  
【公式サイト】  
<https://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>



太田記念美術館  
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

# 私生活は破茶滅茶、でも浮世絵は一徹。

2025年は、幕末から明治にかけての浮世絵師である豊原国周(1835~1900)の生誕190年の記念の年となります。国周は迫力のある役者絵や、繊細な雰囲気を感じる美人画などで人気を得て、月岡芳年や小林清親らと並ぶ人気絵師として活躍しました。

一方で国周は、その生活や私生活がとかく破天荒な人物として伝わっています。大酒飲みで知られ、酒席で河鍋曉斎と大喧嘩をして揚洲周延が止めた話、九代目市川團十郎と喧嘩をしてわざと目に描いた話、「国周が入牢した」とデマを流される詐欺にあったり、借金がかさんで東京で2番目に破産宣告を受けた話、一説に117回も引越をしをし、「絵では北斎にかなわないが、引越しては負けない」と豪語した話など、その生涯は豪放でユニークなエピソードにあふれています。

一方で、生涯に残した作品数は明治の浮世絵師の中でも随一と考えられます。その膨大な作品を眺めると、浮世絵を描くことに関しては誰よりも真面目であり、江戸時代以来の浮世絵を伝えつつ、表現を常に工夫し続けた一流絵師としての人物像も垣間見えてきます。

本展は従来、役者絵を中心に紹介されてきた国周作品を、初期から晩年まで俯瞰し、美人画、肉筆画など、幅広いジャンルを紹介する画期的な回顧展となります。200点を越える貴重な作品を通して、激動の時代を生き抜いた国周作品の魅力をお楽しみください。



1. 「開化三十六金匱 代地 巴屋」(後期)
  2. 「普那丸人様 神力民五郎」(後期)
  3. 「四人剣見越之魁」(前期)
  4. 「加賀美山門岩藤」(前期)
  5. 「江戸気雄鷹 当盛すがた」(前期)
  6. 「見立昼夜廿四時之内 午前一時」(後期)
  7. 「歌舞伎座中満久 卍屋鋪化粧姿鏡」(後期)
- 2,3,4は個人蔵、他は太田記念美術館蔵



5



2



1



6



3



4



## 太田記念美術館

ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

【アクセス】 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10  
丸山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分 東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分  
【公式サイト】 <https://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

静嘉堂文庫美術館と豊原国周展を同時開催  
「豊原国周生誕190年

歌舞伎を描く—秘蔵の浮世絵初公開!」

2025年1月25日(土)~3月23日(日)

【会場】 静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)  
【ハローダイヤル】 050-5541-8600

豊原国周を巡る—入館料相互割引プラン

本展の半券を静嘉堂文庫美術館の左記展覧会でご提示いただくと、一般200円引でご覧いただけます。また、左記展覧会の半券を本館の「生誕190年 豊原国周」でご提示いただくと、100円割引でご覧いただけます。(1枚につき1名様、1回限り有効) ※他の割引との併用はできません。

予告なく予定を変更することがあります。また、入場及び観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。ご来館の前に、当館ウェブサイトやハローダイヤルにて最新情報をご確認ください。